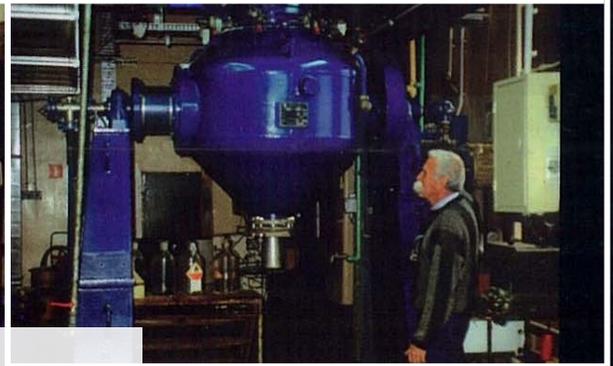
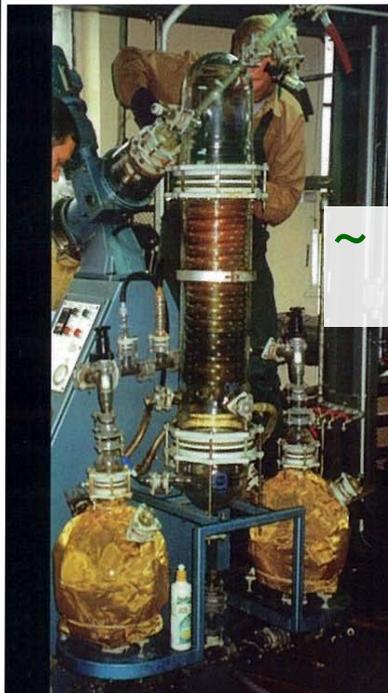
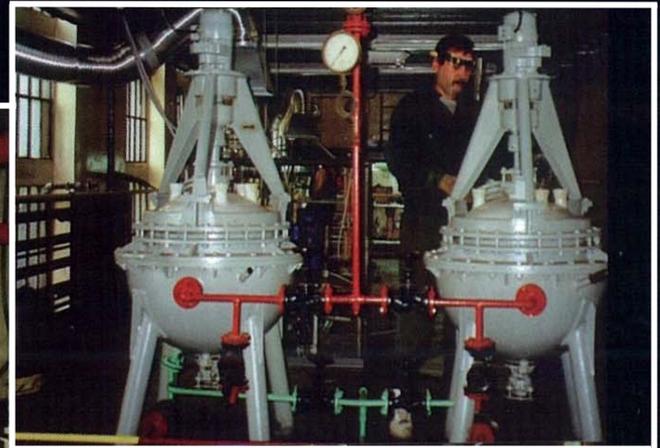
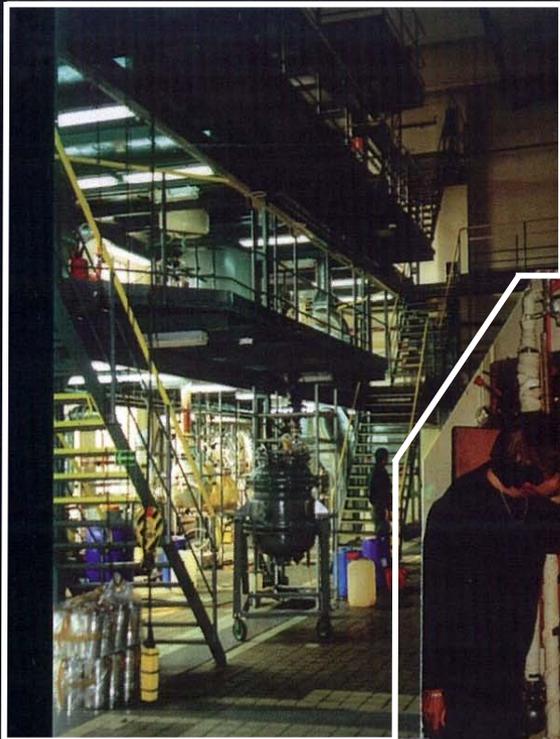
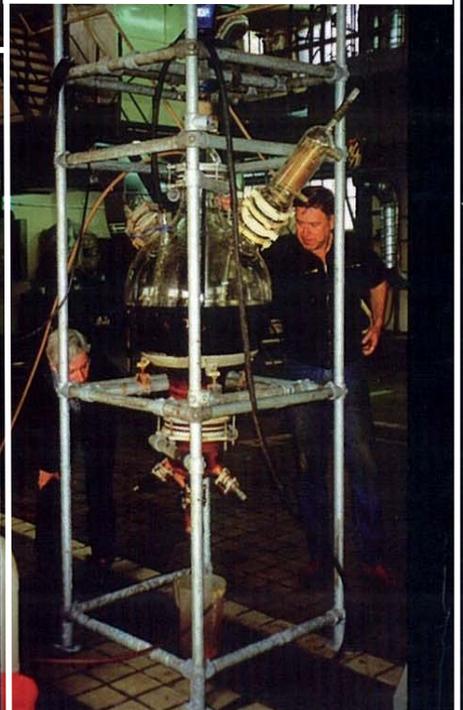
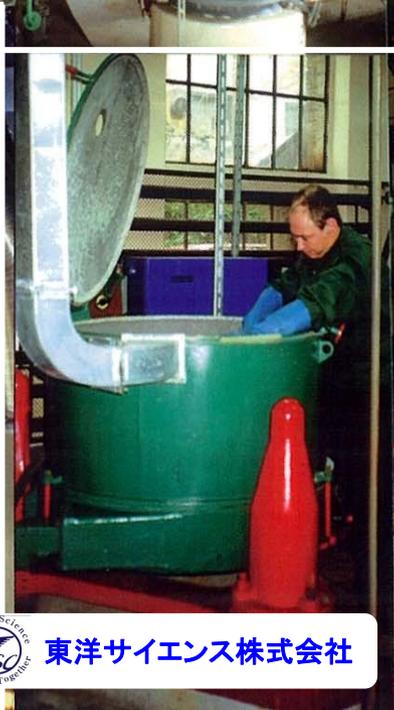
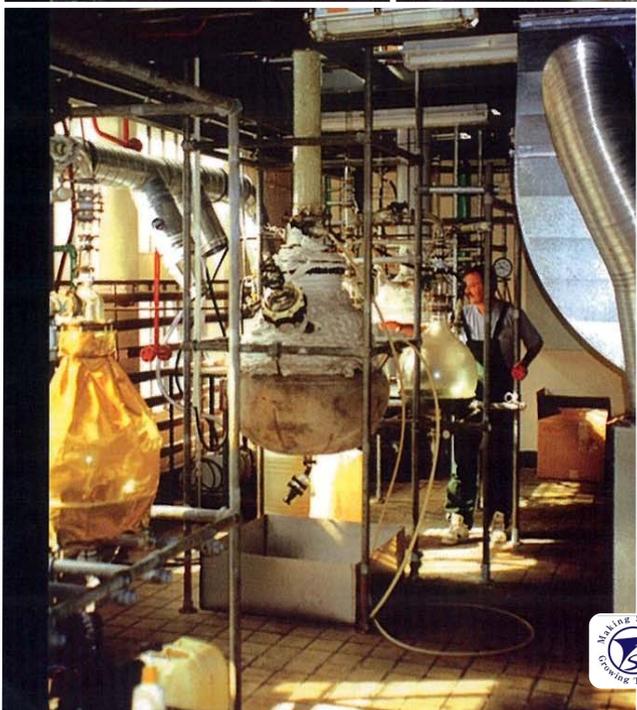
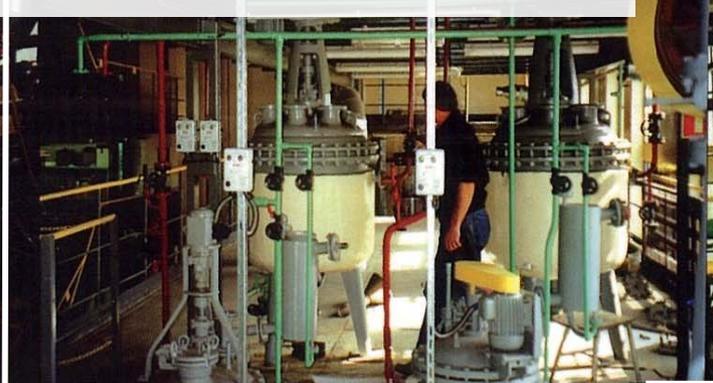


Z.D. CHEMIPAN

(ポーランド共和国)



～ ラボからスケールアップへ
工程開発のプロフェッショナル ～



東洋サイエンス株式会社

～ラボからスケールアップへ 工程開発のプロフェッショナル～

Z.D. CHEMIPAN

Z.D. CHEMIPAN R&D LABORATORIES

- ポーランド共和国 -



会社概要:

1971年、ワルシャワに設立。ポーランド科学アカデミーの有機化学研究センターと物理化学研究センターと提携。ISO9001を取得し、現在50人(15人が博士)体制となっております。

アカデミーで開発された化合物の工業化プロセス開発を長年行っており、スケールアップ・プロセスを最も得意とする。

経験豊富な科学アカデミーの化学者との提携により、研究開発から製造まで、多様な受託案件に対応可能です。現在までに弊社を通じて日本に輸入した化合物は約150種類に及び、秘密保持契約締結のもと、着実な実績をあげております。

特色:

- ポーランド科学アカデミー(科学者250人在籍)の全面的なサポートを受け、世界トップクラスの頭脳がお客様をサポート。
- オリジナリティのある特殊な装置(主にガラス装置)を使用し、様々な反応に対応。
- 化学者自身が研究だけでなく製造も自ら行います。原料の仕込から反応状況の目視確認など、細心のケアのもとで工程管理を行うため、異物混入を最大限に防ぎ、品質も安定します。
- 同社は合成技術だけでなく、液体化合物の分留技術についても科学アカデミーで研究したスタッフが専門に行うため、高純度品の生産を実現しています。



～CHEMIPANの専門分野～

- ・複素環化合物
- ・安定フリーラジカル化合物
- ・アセチレン酸及びそれら誘導体
- ・医薬品中間体
- ・高純度な標準物質
- ・フェロモン(主に昆虫フェロモンの合成)
- ・ファインケミカル品の受託合成

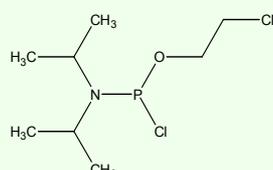
～得意とする反応系～

- アシル化 / 臭素化 / 塩素化
 ジアゾ化 / エステル化 / メチル化
 ニトロ化 / 酸化反応
 還元反応
 (Wolff-Kishner, アルカリ金属水素化物)

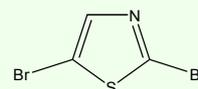
～設備～

- ・パイロットプラント
 年間数百KGまで対応可能(GL,SUS)
 反応温度: -30℃～200℃
 (高圧から常圧まで)
- ・ラボ
 ガラス反応器(20L)を主に年間数KG
 まで対応可能
 オートクレーブ 4L(30-40 atm)

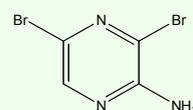
CHEMIPAN製品一例



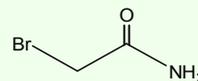
2-Cyanoethyl N,N-diisopropyl
chlorophosphoramidite
CAS NO.89992-70-1



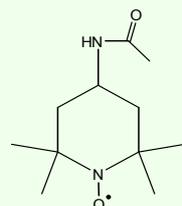
2,5-Dibromothiazole
CAS NO.4175-78-4



2-Amino-3,5-dibromopyrazine
CAS NO.24241-18-7



2-Bromoacetamide
CAS NO.683-57-8



4-ACETAMIDO-TEMPO,
free radical
CAS NO.14691-89-5



東洋サイエンス株式会社

〒103-0022

東京都中央区日本橋室町4-1-21 近三ビルディング 4階

担当者: 営業第2部 三浦 幹巨

Tel: 03-5205-1040 Fax: 03-5205-1043

Mail: fc2@toyo-asia.co.jp URL: http://www.toyo-asia.co.jp